
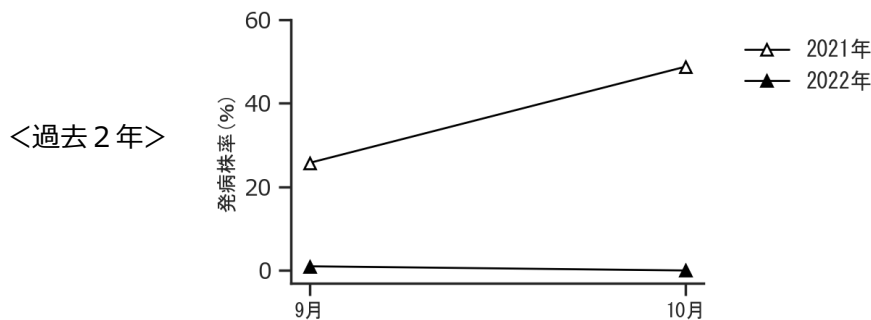
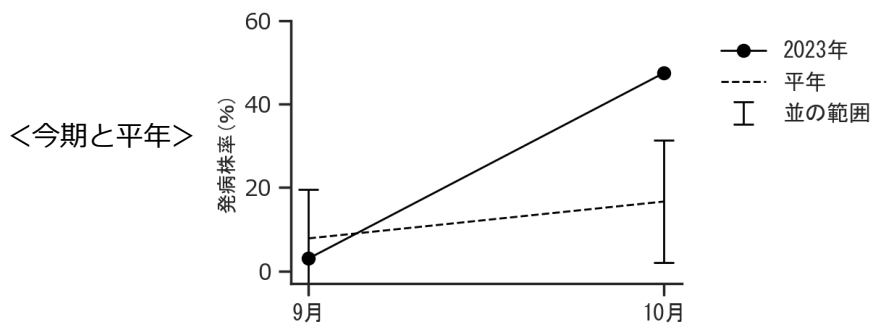


作物	水稻（2期）	地域	八重山群島
病害虫名	葉いもち病		
調査結果	10月の発生量（平年比）	やや多	
予報	10月からの増減傾向	—	
	11月の発生量（平年比）	—	
予報の根拠			

調査結果


発病株率の推移



- ・ 発病度11.9（平年4.2）
- ・ 発生ほ場率100%（平年：53.8%）

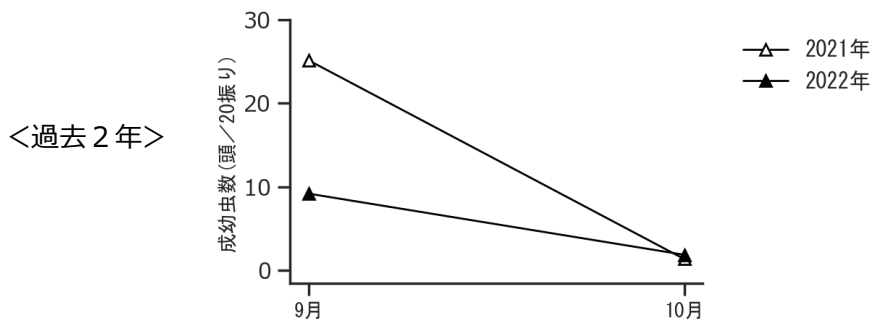
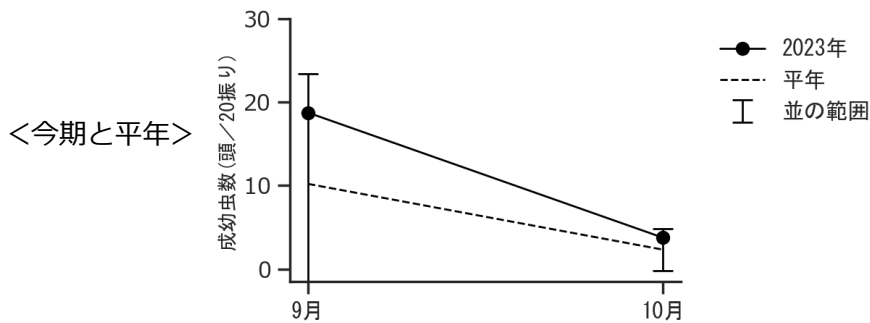
防除のポイント

- ・ 収穫後の被害わらは次作の感染源となるため、水田付近に放置しない。
- ・ 汚染もみは次作の感染源となるため、発生ほ場からは採種しない。

作物	水稻（2期）	地域	八重山群島
病害虫名	セジロウンカ		
調査結果	10月の発生量（平年比）	並	
予報	10月からの増減傾向	—	
	11月の発生量（平年比）	—	
予報の根拠			

調査結果

成幼虫数の推移



・発生ほ場率75.0%（平年：57.6%）

防除のポイント

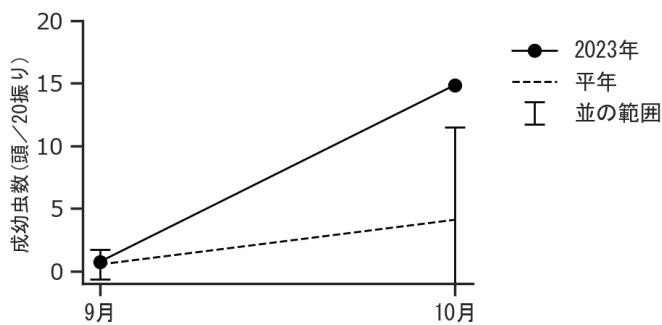
- ・ウンカ類は株元に生息するため、薬剤防除を行う場合、株元に十分に薬剤がかかるように心がける。
- ・突発型の害虫であるため、発生予察情報を注意する。

作物	水稻（2期）	地域	八重山群島
病害虫名	斑点米カメムシ類		 <p>ホソハリカメムシ</p>
調査結果	10月の発生量（平年比）	やや多	
予報	10月からの増減傾向	—	
	11月の発生量（平年比）	—	
予報の根拠			

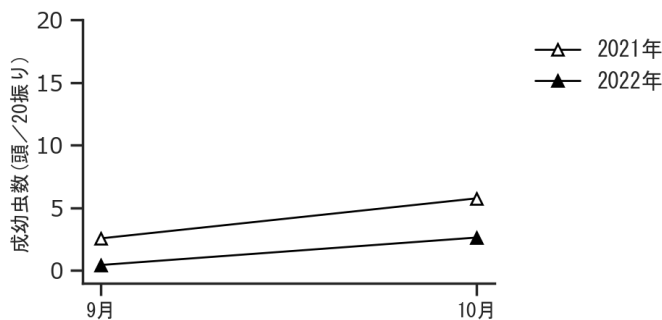
調査結果

成幼虫数の推移

<今期と平年>



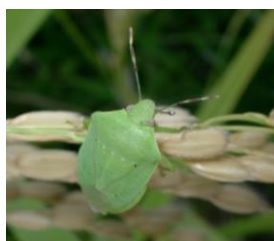
<過去2年>



- ・発生種：ホソハリカメムシ
- ・発生ほ場率75.0%（平年：56.3%）
- ・一部ほ場で多発

防除のポイント

- ・次作に向けた密度低減を図るため、畦畔および水田周辺の除草を行う。



ミナミアオカメムシ



アカカメムシ

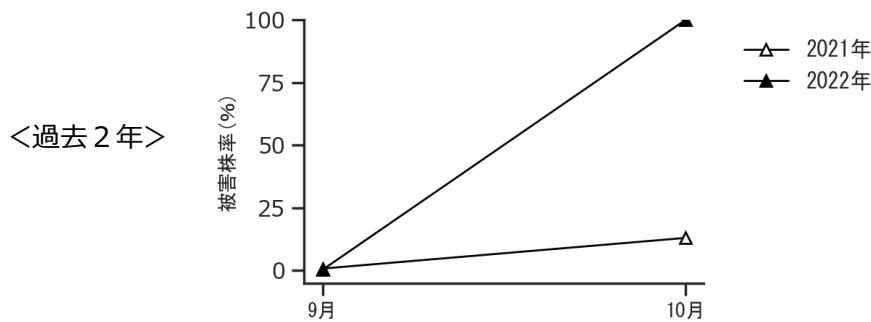
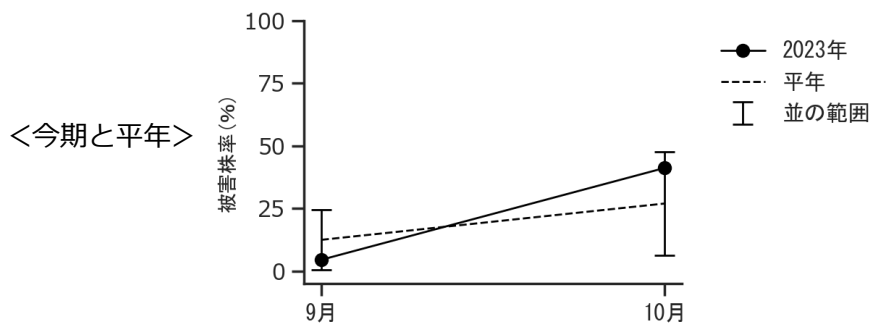


斑点米

作物	水稻（2期）	地域	八重山群島
病害虫名	コブノメイガ		
調査結果	10月の発生量（平年比）	並	
予報	10月からの増減傾向	—	
	11月の発生量（平年比）	—	
予報の根拠			

調査結果

被害株率の推移



・発生ほ場率100%（平年：56.3%）

防除のポイント

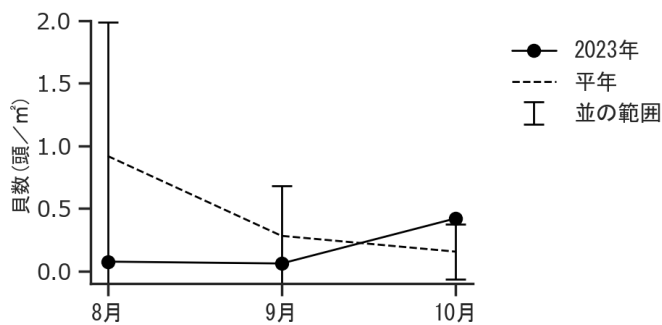
- ・次作に向けた密度低減を図るため、収穫後に畦畔および水田周辺の除草を行う。

作物	水稻（2期）	地域	八重山群島
病害虫名	スクミリンゴガイ		
調査結果	10 月の発生量（平年比）	やや多	
予報	10 月からの増減傾向	—	
	11 月の発生量（平年比）	—	
予報の根拠			

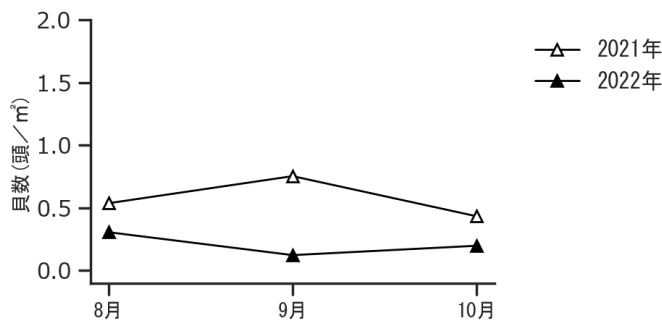
調査結果

貝数の推移

<今期と平年>



<過去2年>



- ・発生ほ場率37.5%（平年：28.8%）
- ・一部ほ場で多発

防除のポイント

- ・畦畔および用排水路周辺の雑草を除去し、産卵場所を作らない。
- ・次作に向けた密度低減を図るため、貝や卵塊は見つけ次第捕殺する。